

# 自民、公明などが柏崎刈羽原発再稼働の知事判断追認 県政史に大きな汚点残す

新潟県議会は22日、柏崎刈羽原発の再稼働を前提にした「原発の理解促進事業」を盛り込んだ一般会計補正予算と再稼働を容認した花角知事を「信任」する付帯決議を自民、公明などの賛成多数で可決しました。反対したのは、「未来にいがた」、「リベラル新潟」所属の県議と無所属の馬場秀幸県議の16人でした。

花角知事は7年前の県知事選挙で、柏崎刈羽原発の再稼働については「県民の信を問う」ことを公約に掲げていました。今回の知事判断はどこから見ても公約違反です。福島第一原発の過酷事故はいまだに収束せず、福島からの避難者の多くが故郷に戻ることができずにいます。また、昨年1月1日の能登半島地震では、家屋の倒壊や道路の寸断で逃げようにも逃げられない事態が起きることもあったことが浮き彫りになりました。

こうした中で、「原発再稼働の条件は整っていない」とする県民が6割にも上る調査結果が出たのは当然です。にもかかわらず、それも無視して、再稼働判断した知事は絶対に許すことはできません。そして原発再稼働関連予算に賛成し、知事を「信任」する付帯決議をした自民、公明などの県議も同様です。



今回の一連の決定は、県民の命と安全を無視したもので、県政史に大きな汚点を残すものとなりました。

## 松代病院の診療所化も強行

12月県議会では、松代病院を入院ベッドの無い診療所にする「条例改正」も賛成多数で可決しました。関係住民や現場の反対の声を無視した暴挙です。

こちらは「未来にいがた」、「リベラル新潟」所属の15県議と無所属の馬場県議のほか「真政にいがた」の3議員も反対しました。



【タンポポ】キク科の多年草。漢字で「蒲公英」と書きます。この文字で書いた場合、中国の植物名にもなります。通常の花期は3月から5月頃ですが、草刈りなどで刈られると再び生えてきます。最近是一年、見ている感じがします。花言葉は多く、「愛の神託」「真心の愛」「幸せ」など。今月上旬、三和区の農道上で見かけ、撮影しました。



三和区のコウノトリの親鳥ペアです。22日、東中島から三和区の本郷へと向かう途中、田んぼでエサを食べていました。田んぼから農道に出てきたところを撮影しました。

## 14議案に反対

12月市議会は18日、議案の審査報告、討論、採決などが行われ、終わりました。

日本共産党議員団は、市民生活が依然として厳しい状況にあるなかで値上げは極力避けるべきだとして、市長、議員など特別職の報酬引き上げやくるみ家族園の利用料金の引き上げなど14議案に反対しました。他の議案は賛成です。

上越市議会はこの日、通年議会を来年5月から実施することを決めました。通年議会では、議長の権限で会議を開くことができるので、災害などの緊急時にも迅速な対応が可能となります。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2233 2025.12.28

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznysg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第八八〇回 師走の晴れ

師走になり、冬至も過ぎました。一番短くなった昼の時間帯が、これからは少しずつのびていく、うれしいですね。

今年の師走はこれまで、晴れの日が多く、暖かいのが特徴です。先だつての日曜日は二〇度を超えました。

この時期、晴れの日が一日でもあると、私と同じ年代の人は、「きょうは、もうけもんの日だ」と言います。雪や雨が降るのが当たり前と覚悟しているだけに、青空を見ることがうれしくなるのです。

それが二日も三日も続くとうなるか。朝ドラの『ばけけけ』風に言えば、もうスキップ気分です。私の場合、家でじっとしていることができません。とにかく外に出てみたい。行きたいところへ行きたい。

晴れば、人間だけでなく鳥だって同じはずだ。そう思って、先日はコウノトリ探しに出ました。まずは吉川区内の主だったところを探しました。でもいまませんでした。コウノトリを見つけたのは三和区を過ぎて東中島方面へ向かう農道を軽乗用車で走っているときでした。県道との十文字で一時停止していると、私の目に空飛ぶコウノトリの姿が飛び込んできたのです。

コウノトリは全部で三羽いました。三羽いるだけでもうれしかったのですが、それが空を飛んでいるとなれば、めったにないことです。「これは記録しておかなきゃ」とカメラを構えました。

動画を撮り始めたら、三羽は旋回しながら徐々に高く上がっていききました。上昇気流に乗ったのでしょうか。こういう光景を見たのは、今年二度目です。前回のはわが家の近くでした。カタカタカタというクラッタリング（口ばしを使って音を出すこと）の音がしたので、その音の方向へ車を走らせたところ、二羽のコウノトリが旋回中でした。青空が広がるなか、数回羽ばたいて、その後、グライダーのように飛ぶ。じつに

楽しそうでした。今回も同じです。

晴れると、会いたい人と偶然出会う確率も高まる感じがします。この日は面白いことにあちこちで、日頃会いたくてもなかなか会えない人と再会しました。

コウノトリの撮影が終わってから、直江津で少し仕事をし、その後、ライオン像のある館に顔を出してきました。そこでは春以来、会っていなかった音楽ユニット、「コスモフィッシュ」のみなさんと再会できました。もちろん演奏も聴き、素敵なおもてなしにうっとりしました。うれしかったのはアンコールで地元の歌、『朝市の歌』を聴けたことです。「買っていきないうち」の晩のごつお」などの方言がいくつも出てきて、朝市の人たちの様子を見事に表現しています。メンバーの一人からは、「また、イラスト、描いてください」と声をかけていただきました。

数日後、これも晴れの日です。昼食後、従姉が入所している医療型介護施設へ車を走らせました。

検温などの所定の手続きをして従姉の部屋に入ると、目をしっかりと開けています。「これは調子良さそうだ」そう思いながら、頭をなでて、「かあちゃん、ノリカズだよ」と声をかけましたが、返事はありません。それで亡き母の元気な頃の写真をスマホのなかから選んで見てもらいました。「ほら、おうちのばちゃだよ。わかるかね」そう言うと、何と、コックリと頷いてくれたのです。

母が三年前に亡くなっていることは伝えてないので、ひょっとすると、母が元気であると思ったかも知れません。どうあれ、母の写真に反応してくれたことで、私はうれしくなって涙がこぼれてしまいました。

師走の晴れ、今年はまだ一回はあります。展開するか、楽しみにしています。

## 今年も盛大に「ほっとホットコンサート」



20日は地元の吉川コミプラで恒例の「ほっとホットコンサート」でした。11月の生涯学習フェスティバルで音楽関係はまったく観ることができなかったのが、優先的に参加しました。

楽しみの1つは、原文町在住の渡辺光幸さんが入っているグループ、「パンダクインテット」の演奏です。クリスマスソングや朝ドラの挿入歌などを楽しませてもらいました。

中学校吹奏楽部の演奏では薄波和夫さんの指揮に注目しました。多才な人だとは思っていました。

が、すごいですね。

ハーモニカの最賀一さんの演奏はたぶん2度目だと思います。ハーモニカでここまでできるのかと思うほど素敵な演奏でした。

コーラスサークルゆりかごは昔、私の連れ合いも参加していたグループです。「いちご娘」「地球星歌」など4曲、きれいな歌声のハーモニーでした。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月17日(水)	12月24日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.053	0.070
東頸消防署	0.053	0.040
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.047	0.057



# 春よ来い

## 第八八〇回 師走の晴れ

師走になり、冬至も過ぎました。一番短くなった昼の時間帯が、これから少しずつのびていく、うれしいですね。

今年の師走はこれまで、晴れの日が多く、暖かいのが特徴です。先だつての日曜日は二〇度を超えました。

この時期、晴れの日が一日でもあると、私と同じ年代の人は、「きょうは、もうけもんの日だ」と言います。雪や雨が降るのが当たり前と覚悟しているだけに、青空を見るとうれしくなるのです。

それが二日も三日も続くとうなるか。朝ドラの『ばけけけ』風に言えば、もうスキップ気分です。私の場合、家でじっとしていることができません。とにかく外に出てみたい。行きたいところへ行きたい。

晴れば、人間だけでなく鳥だって同じはずだ。そう思って、先日はコウノトリ探しに出ました。まずは吉川区内の主だったところを探しました。でもいまませんでした。コウノトリを見つけたのは三和区を過ぎて東中島方面へ向かう農道を軽乗用車で走っているときでした。県道との十文字で一時停止していると、私の目に空飛ぶコウノトリの姿が飛び込んできたのです。

コウノトリは全部で三羽いました。三羽いるだけでもうれしかったのですが、それが空を飛んでいるとなれば、めったにないことです。「これは記録しておかなきゃ」とカメラを構えました。

動画を撮り始めたら、三羽は旋回しながら徐々に高く上がっていききました。上昇気流に乗ったのでしょうか。こういう光景を見たのは、今年二度目です。前回のはわが家の近くでした。カタカタカタというクラッタリング（口ばしを使って音を出すこと）の音がしたので、その音の方向へ車を走らせたところ、二羽のコウノトリが旋回中でした。青空が広がるなか、数回羽ばたいて、その後、グライダーのように飛ぶ。じつに

楽しそうでした。今回も同じです。

晴れると、会いたい人と偶然出会う確率も高まる感じがします。この日は面白いことにあちこちで、日頃会いたくてもなかなか会えない人と再会しました。

コウノトリの撮影が終わってから、直江津で少し仕事をし、その後、ライオン像のある館に顔を出してきました。そこでは春以来、会っていなかった音楽ユニット、「コスモフィッシュ」のみなさんと再会できました。もちろん演奏も聴き、素敵なおもてなしにうっとりしました。うれしかったのはアンコールで地元の歌、『朝市の歌』を聴けたことです。「買っていきないうち」『晩のごっつお』などの方言がいくつも出てきて、朝市の人たちの様子を見事に表現しています。メンバーの一人からは、「また、イラスト、描いてください」と声をかけていただきました。

数日後、これも晴れの日です。昼食後、従姉が入所している医療型介護施設へ車を走らせました。

検温などの所定の手続きをして従姉の部屋に入ると、目をしっかりと開けています。「これは調子良さそうだ」そう思いながら、頭をなでて、「かあちゃん、ノリカズだよ」と声をかけましたが、返事はありません。それで亡き母の元気な頃の写真をスマホのなかから選んで見てもらいました。「ほら、おうちのばちゃだよ。わかるかね」そう言うのと、何と、コックリと頷いてくれたのです。

母が三年前に亡くなっていることは伝えてないので、ひょっとすると、母が元気であると思っていたかも知れません。どうあれ、母の写真に反応してくれたことで、私はうれしくなっていて涙がこぼれてしまいました。

師走の晴れ、今年は今一回はありそうです。そのとき、どんなうれしいドラマが展開するか、楽しみにしています。

## 私の2025年10大ニュース



- ①県民の命と安全無視の柏崎刈羽原発再稼働容認。県民投票条例否決し、県議会で「同意」とは。知事の公約違反は明白。「人間の鎖」初めて県庁を囲む。



- ②中川市政から小菅市政へ。度重なる市長失言で現職失速。市長選は大混戦。市議補選で日本共産党の山本のぶこさん健闘。
- ③注目の参院選。日本共産党は比例区で2議席どまり、選挙区は東京だけ勝利。捲土重来期す。
- ④水不足。雨不足と県営高田発電所の水圧管破断で水道水大ピンチ。農地も干ばつ被害。
- ④合併20周年。上越市が周辺13町村と合併して節目の年を迎え、改めて合併の功罪が話題に。人口減少顕著。

- ⑤コウノトリ、今年も吉川区で営巣し、ヒナ3羽巣立つ。三和区でも営巣し、1羽巣立つ。「幸せを運ぶ鳥」として今年も大きな話題に。



- ⑥県立松代病院の無床診療所化方針に大きな反発。県の説明会、反対集会に参加し、県病院局のグリ押しを批判。上越医療圏への影響必至。
- ⑦コメ不足で生産地上越でも重要課題に。農業の担い手不足、一段と深刻化。市内では「百姓一揆」の取組も。
- ⑧集中豪雨に突風。ピンポン玉クラスの雹（ひょう）被害も。
- ⑨エッセイ集『とちやの風』『母ありてこそ』発刊。
- ⑩『コウノトリさん、ありがとね』『かちやの歌』に続き、『ランラン凍みおたり』（いずれも地元の歌）話題に。

母あればこそ



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月17日(水)	12月24日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.053	0.070
東頸消防署	0.053	0.040
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.047	0.057